

HVTOOL ユーザーズ・マニュアル (ソフト版)

Ver 1.4.0
5/10/2004

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright© 2004 YAMAHA CORPORATION
All rights reserved.

はじめに

HVTOOL（ソフト版）とは、HV アプリケーションを開発する上での HV 再生音を検証するためのアプリケーション・ソフトウェアです。

HV-Script の編集及び発音の確認や、HV 音色パラメータの編集を行うことができます。

推奨動作環境

本アプリケーションの推奨動作環境を以下に示します。

対応 OS	Microsoft® Windows® XP Microsoft® Windows® 2000 日本語 HV 機能を使用するためには日本語バージョン、他国語 HV 機能を使用するためには他国語バージョンが必要です。
CPU/クロック	Pentium®、Celeron™、または互換プロセッサ/ 166MHz 以上
メモリー	64MB 以上
必要なハードディスク空き容量	10MB 以上

※ 本マニュアルで使用されているすべての製品名は、各社の商標および登録商標です。

目 次

1 アプリケーションの起動	6
2 ダイアログ	7
2.1 メインダイアログ	7
2.2 タイトルバー	8
2.2.1 システムメニュー	8
2.3 コントロールエリア	8
2.4 HV Script ファイルエリア	9
2.5 Add メニューエリア	9
2.5.1 “Height Accent”(高低アクセント)エリア	9
2.5.2 “Strength Accent”(強弱アクセント)エリア	10
2.5.3 “Accent Clear”(アクセントシフトクリア)エリア	10
2.5.4 “Rhythm of Clause”(韻律記号)エリア	10
2.5.5 “Clause Punctuation”(文節区切り)エリア	11
2.5.6 “Control Character”(制御文字列)エリア	11
2.5.7 Add Header (ヘッダ付加)	12
2.5.8 Script Clear (スクリプトのクリア)	12
2.5.9 Add Copyright (著作権情報付加)	13
2.5.10 Optimize (最適化)	13
2.6 HV Voice リストエリア	14
2.6.1 Voice Assign List	14
2.6.2 User Voice List	16
2.7 HV-Script 入力エリア	17
3 HV 音色設定機能	18
3.1 HV Voice Edit ダイアログ	18
4 About ダイアログ	22
5 メッセージ	23
5.1 エラーメッセージ	23

5.1.1	入出力時に出るエラーメッセージ	23
5.1.2	起動時に出るエラーメッセージ	23
5.1.3	その他のエラーメッセージ	23
5.1.4	ユーザー操作関連のエラーメッセージ	23
5.2	警告メッセージ	24
5.2.1	入出力時に出る確認メッセージ	24
5.3	確認メッセージ	24
5.3.1	ユーザー操作関連の確認メッセージ	24
5.3.2	終了時に出る確認メッセージ	24

<更新履歴>

Ver	Date	内容
1.0.0	2003/5/16	新規作成
1.1.0	2003/6/27	推奨動作環境の対応 OS に言語バージョンについて追記 1. 韓国語に対応 2.5 韓国語 HV Script について記述追加
1.3.0	2004/1/19	対象 OS から Microsoft® Windows® 98 を削除 2.1 図 2-1 メインダイアログを変更 2.2 2.2 タイトルバー追加 2.3 図 2-2 コントロールエリアを変更 MV(マスターボリューム)設定を追加 2.5 Add メニューエリアを追加 3.1 図 3-1HV Voice Edit ダイアログを変更 MV(マスターボリューム設定)を追加 4 エラーメッセージを変更・追加
1.4.0	2004/5/10	・各種言語対応一言語選択機能追加 ・各種ボタンに変化量設定を追加 ・Insert Punctuation 機能追加

1 アプリケーションの起動

「HVTool_S.exe」をダブルクリックします。

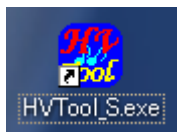


図 1-1 HVTool_S.exe

例えば、Windows の言語バージョンが、日本語のときは日本語 HV ツール、他国語のときは他国語 HV ツールとして動作します。

2 ダイアログ

2.1 メインダイアログ

HV ツールを起動すると、メインダイアログが開きます。
メインダイアログ上の操作で、HV ツールの様々な機能の選択や実行をすることができます。
また、HV-Script ファイルを本ダイアログ上にドラッグアンドドロップ、または Open(開く)ボタンで HV-Script ファイルを開き HV-Script 入力エリアに HV-Script の内容を表示します。

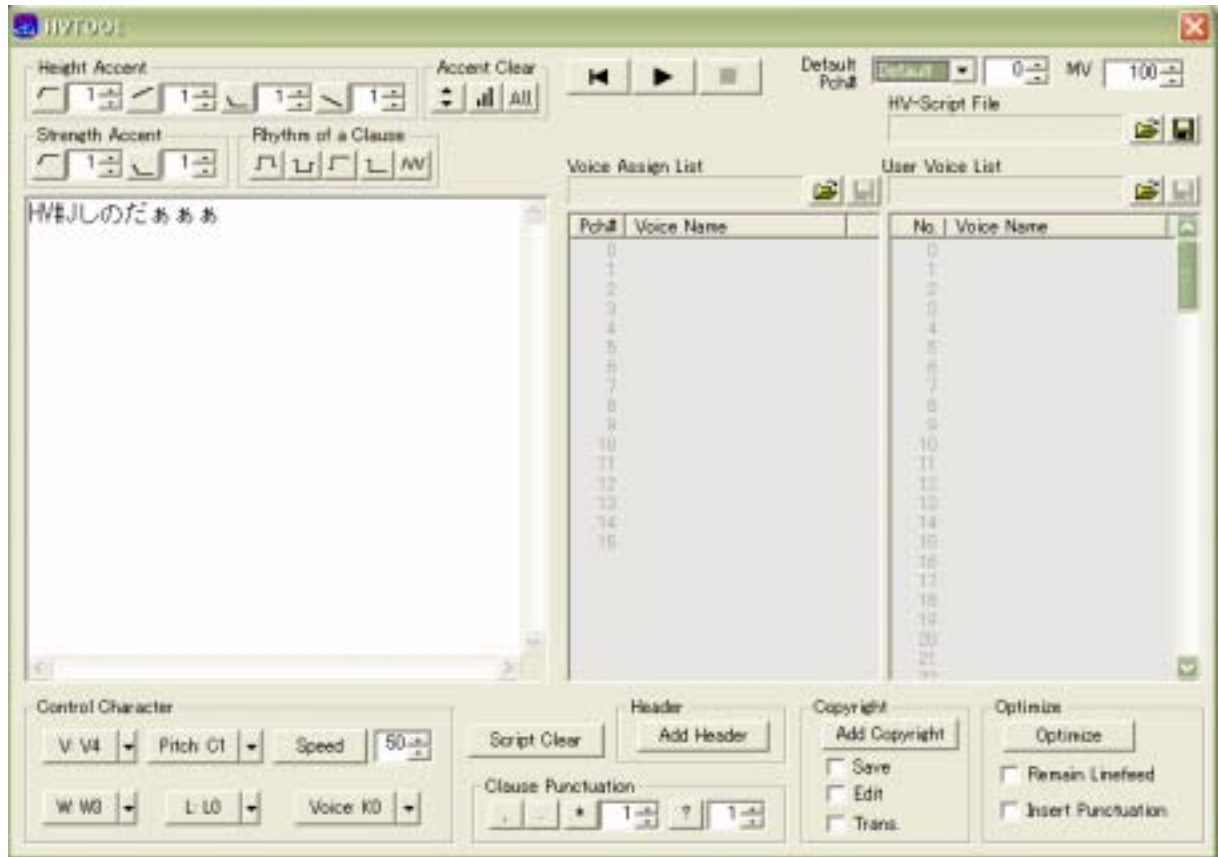


図 2-1 メインダイアログ

2.2 タイトルバー



タイトルバー上の任意の場所でマウスを右クリックすると、システムメニューを表示します。

2.2.1 システムメニュー

移動/閉じる/About...の各項目があります。

「移動」を左クリック後、メインダイアログ上でクリックした状態でマウスをドラッグすると、メインダイアログを移動できます。

「閉じる」をクリックすると、アプリケーションが終了します。

「About...」をクリックすると、About ダイアログが表示されます。

2.3 コントロールエリア

HV Script ファイルの再生をコントロールします。

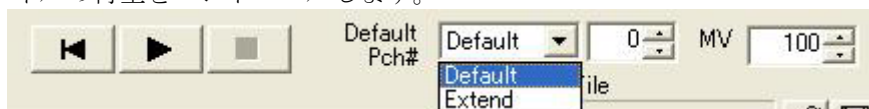


図 2-2 コントロールエリア

Rewind(先頭へ移動)ボタン "w" キー	HV-Script が停止している時にクリックすると、再生位置を先頭に設定します。
Play(再生)ボタン スペースキー	HV-Script が停止している時にクリックすると、HV-Script の再生を行います。
Stop(停止)ボタン 再生中のスペースキー	HV-Script の再生中にクリックすると、HV-Script の再生を停止します。
Default Pch#(デフォルトプログラムチェンジ番号)設定	HV-Script 中で何もプログラム・チェンジの指定がない時のプログラム・チェンジ番号を設定します。 Voice Assign List で音色をマウスで選択したタイミングで、Voice Assign List で該当するプログラム・チェンジ番号を本パラメータへ設定します。
Default Pch# [Default]	0～15 までの Default 音色を選択することができます。
Default Pch# [Extend]	Voice Assign List に登録されている、0～15 までの拡張音色を選択することができます。
MV (マスターボリューム)設定	HV-Script の再生音量値を設定します。

2.4 HV Script ファイルエリア

HV Script ファイル(*.hvs)の読み込みや保存を行います。



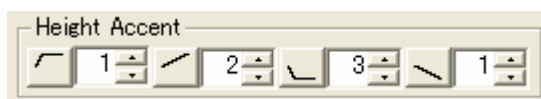
図 2-3 HV Script ファイルエリア

Open(開く)ボタン	HV-Script ファイルを開きます。 HV-Script ボックスに、読み込んだ HV-Script を表示します。また HV-Script ファイル名を HV-Script ファイル名表示エリアに表示します。
Save(保存)ボタン	HV-Script ファイル形式(*.hvs)で保存します。

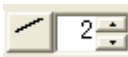
2.5 Add メニューエリア





HV-Script 入力ボックスに表示されているデータに対し、様々な記号や文字列を追加するための機能を用意します。このメニューエリア内に更に小さくエリア分けされています。

2.5.1 “Height Accent”(高低アクセント)エリア

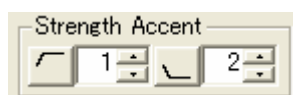


高低アクセント記号+変化量設定を挿入したい HV-Script 中の場所にカーソルを置き、各ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に該当高低アクセント記号を付加します。

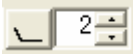
変化量を設定することが出来ます。例)  ⇒ $\wedge 2$



 ボタン	ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の高低アクセント記号"'"を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の高低アクセント記号"^^"を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の高低アクセント記号"_"を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の高低アクセント記号"\$"を付加します。

2.5.2 “Strength Accent”(強弱アクセント)エリア

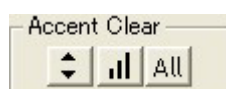


強弱アクセント記号＋変化量設定を挿入したい HV-Script 中の場所にカーソルを置き、各ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に該当する強弱アクセント記号を付加します。




変化量を設定することが出来ます。例)  ⇒ > 2

 ボタン	ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の強弱アクセント記号"<"を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の強弱アクセント記号">"を付加します。

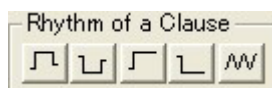
2.5.3 “Accent Clear”(アクセントシフトクリア)エリア








アクセントシフトクリア記号を挿入したい HV-Script 中の場所にカーソルを置き、各ボタンをクリックすると、カーソル位置に該当するアクセントシフトクリア記号を付加します。

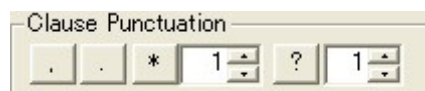
 ボタン	ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte のアクセントシフトクリア記号"/"を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte のアクセントシフトクリア記号"="を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte のアクセントシフトクリア記号"&"を付加します。

2.5.4 “Rhythm of Clause”(韻律記号)エリア



 ボタン	ボタンをクリックすると、カーソル位置に 1byte の韻律記号"@"を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、カーソル位置に 1byte の韻律記号"!"を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、カーソル位置に 1byte の韻律記号";"を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、カーソル位置に 1byte の韻律記号":."を付加します。
 ボタン	ボタンをクリックすると、カーソル位置に 1byte の韻律記号"+"を付加します。

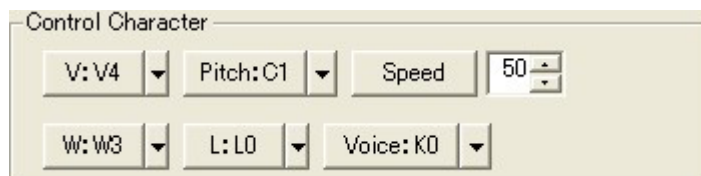
2.5.5 “Clause Punctuation”(文節区切り)エリア



文節区切り記号を挿入したい HV-Script 中の場所にカーソルを置き、各ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に該当文節区切り記号を付加します。



ボタン	“,”ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の文節区切り記号“,”を付加します。
ボタン	“.”ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の文節区切り記号“.”を付加します。
ボタン	“*”ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の文節区切り記号“*”を付加します。
“*”変化量設定	“*”の再生音量値を設定します。“*”ボタンをクリックする際、この変化量設定の値が 1 以外の値をとっていた場合、“*”の後ろにその数値を挿入します。
ボタン	“?”ボタンをクリックすると、クリックした回数分だけカーソル位置に 1byte の文節区切り記号“?”を付加します。
“?”変化量設定	“?”の再生音量値を設定します。“?”をクリックする際、この変化量設定の値が 1 以外の値をとっていた場合、“?”の後ろにその数値を挿入します。

2.5.6 “Control Character”(制御文字列)エリア



制御文字列を挿入したい HV-Script 中の場所にカーソルを置き、各ボタンをクリックすると、カーソル位置に該当する制御文字列を付加します。

ボタン	“音量”ボタンをクリックすると、ポップアップメニュー“V”(音量)設定が表示され、いずれかを選択すると、カーソル位置に 1byte のボリュームをあらわす制御文字列“V”を付加します。
“V”(音量)設定	“V”(音量)ボタンで挿入する音量を設定する。“V”(音量)ボタンをクリックする際、この変化量設定の値を挿入します。
ボタン	“Pitch”ボタンをクリックすると、ポップアップメニュー“Pitch”設定が表示され、カーソル位置に 1byte のピッチ文字列“C1”～“B3”を付加します。
“Pitch”設定	“Pitch”(音階)ボタンで挿入するピッチ文字列を設定します。“Pitch”(音階)ボタンをクリックする際、この変化量設定の値を挿入します。
ボタン	“Speed”ボタンをクリックすると、カーソル位置に 1byte の速度文字列“S0”～“S99”を付加します。
	“Speed”ボタンで挿入する速度文字列を設定します。“Speed”ボタンをクリックする際、この変化量設定の値を挿入します。
ボタン	“W”ボタンをクリックすると、ポップアップメニューエラー! 参照元が見つかりません。“W”設定が表示され、いずれかを選択すると、カーソル位置に 1byte の韻律変化度文字列“W1”～“W5”を付加します。
“W”設定	“W”ボタンで挿入する発話長統一を設定します。“W”ボタンをクリックする際、この変化量設定の値を挿入します。

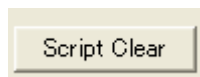
 ボタン	"L"ボタンをクリックすると、ポップアップメニュー" L 設定が表示され、カーソル位置に 1byte の発話長統一文字列"L0"または"L1"を付加します。
"L"設定	"L"ボタンで挿入する発話長統一を設定します。" L ボタンをクリックする際、この変化量設定の値を挿入します。
 ボタン	"Voice"ボタンをクリックすると、カーソル位置に声質"K"または"X"と"0-15"を付加します。
"Voice"(声)設定	"Voice"ボタンで挿入する声質を設定します。" Voice ボタンをクリックする際、この変化量設定の値を挿入します。

2.5.7 Add Header (ヘッダ付加)



Add Header ボタンを押すと、HV-Script の先頭に「HV#」で始まるヘッダ情報を付加します。HV-Script の文頭に「HV#J」等の 4byte 文字列があった場合、ヘッダとみなし、削除後新しくヘッダを付加します。HV-Script の文中に「HV#J」等の 4byte 文字列が存在しても、ヘッダとみなしません。

2.5.8 Script Clear (スクリプトのクリア)



入力エリアに入力されている HV-Script をクリアします。

2.5.9 Add Copyright (著作権情報付加)

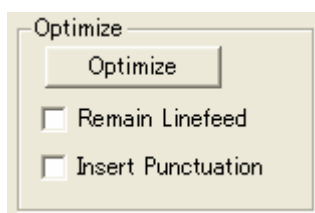


HV-Script に「HV#」で始まるヘッダがついた状態で、**Add Copyright** ボタンを押すと、HV-Script のヘッダ情報のあとに「[##]」で始まる著作権情報を付加します。著作権情報は、Save と Edit と Trans. があり、それぞれの項目に対し指定があれば独立に著作権情報を出力します。

Save と Edit と Trans. のすべてに指定がないときは、HV-Script 上の著作権情報を削除します。

Save (保存)	チェックボックスを ON にして、Add Copyright を実行すれば、著作権情報に保存不可を付加します。
Edit (編集)	チェックボックスを ON にして、Add Copyright を実行すれば、著作権情報に編集不可を付加します。
Trans. (転送)	チェックボックスを ON にして、Add Copyright を実行すれば、著作権情報に転送不可を付加します。

2.5.10 Optimize (最適化)



HV-Script に「HV#」で始まるヘッダがついた状態で、**Optimize** ボタンを押すと、HV-Script を最適化します。最適化の内容は以下のとおりとします。

1. HV-Script の音声文字列のうち「う゛ あ」～「う゛ お」を「ば」～「ぼ」に変換します。
2. 長音・無音記号を 2byte 文字に変換します。
3. 日本語独自の長音「ー」、文節区切り「、」、「。」を「ー」、「、」、「。」に変換します。
4. 制御文字列やイベントの数値範囲を判断し、範囲外の値はデフォルト値に変更します。
5. 制御文字列やイベントが連続して存在する場合、不要な文字列を削除します。
6. 1 文節中に存在する韻律記号のまとまりから相反する動作を指定する韻律記号を相殺します。
7. 連続する韻律記号をまとめ、HV-Script をコンパクトにします。(「\$\$\$\$\$\$\$\$\$」→「\$10」)
この機能を通す前からカウントアップされている記号に対してもカウントアップ処理を行います。
8. 改行コードを削除します。

上記最適化の動作について、対象となる文字列や記号が” [](コメント文)” の中にある場合や、**Remain Linefeed** にチェックがついた場合の改行コードは処理されません。

Remain Linefeed	チェックボックスを ON にして、Optimize を実行すれば、改行コードは最適化の対象とされません。
Insert Punctuation	チェックボックスを ON にして、Optimize を実行すれば、1 文節が 100byte を超えた場合に自動で 100byte 以内に収まるように文節区切りを挿入します。

2.6 HV Voice リストエリア

HV Voice ファイルの読み込みや保存、音色の作成や編集を行います。

2.6.1 Voice Assign List

Pch#(プログラム・チェンジ番号)、Voice Name(音色名)をリスト表示します。

1 リスト(行)で1 ボイスを意味します。全リスト数は0～15 の 16 リストです。

各リストにおいて、HV 音色パラメータが非登録の状態は背景をグレーで表示し、登録状態では背景を白で表示します。

任意の1 リストエリアでマウスをダブルクリックするか、マウスフォーカスを1 リストにあてた上でエンターキーを押下することで HV Voice Edit ダイアログを呼び出すことができます。

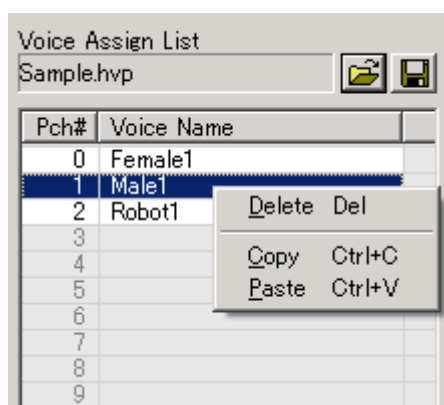
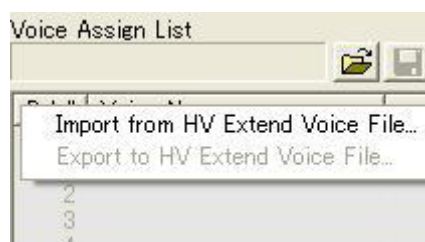


図 2-4 Voice Assign List

Open(開く)ボタン	HV 拡張音色ファイル(.hvp)を開きます。 Voice Assign ファイルから HV Voice データを読み込み、HV Voice ファイル名を HV Voice ファイル名表示エリアに表示します。
Save(保存)ボタン	HV 拡張音色ファイル(*.hvp)形式で保存します。
Pch#(プログラム・チェンジ番号)	プログラム・チェンジ番号を 0 から順番に 15 まで表示します。本項目をクリックすることで降順か昇順かを切り替えることができます。
Voice Name(音色名)	音色名を表示します。 HV Voice Editor ダイアログでのみ変更が可能で、Voice Assign List 上では変更できません。 本項目をクリックすることで降順か昇順かを切り替えることができます。

リストエリア上部の「Pch#」または「Voice Name」上で右クリックするとファイル読み込み操作のためのメニューを表示する。メニューには以下の種類があります。



Import from HV Extend Voice File...	HV Extend Voice File(*.hvp)を開き、読み込む。
Export to HV Extend Voice File...	HV Extend Voice File(*.hvp)を保存する。

● Voice 関連操作

音色パラメータが登録してある音色(背景白)のリストエリアで右クリックすると、Voice 関連操作のためのメニューを表示します。これらは Voice Assign List と User Voice List のどちらでも実行でき、双方向の Copy&Paste も可能です。

Delete Del キー	音色パラメータを非登録状態にします。
Copy Ctrl+C	該当するリストの音色パラメータをコピーします。
Paste Ctrl+V	該当するリストの音色パラメータをペースト(貼り付け)コピーします。

2.6.2 User Voice List

No. (音色番号)、Voice Name(音色名)をリスト表示します。1 リスト(行)で1 ボイスを意味します。全リスト数は0~127 の128 リストです。

各リストにおいて、HV 音色パラメータが非登録の状態は背景をグレーで表示し、登録状態では背景を白で表示します。

任意の1 リストエリアでマウスをダブルクリックするか、マウスフォーカスを1 リストにあてた上でエンターキーを押下することで、HV Voice Edit ダイアログを呼び出すことができます。

HV Voice Edit ダイアログを呼び出し後、OK ボタンを押し、音色パラメータが確定すると該当リストは音色パラメータを登録した状態となります。

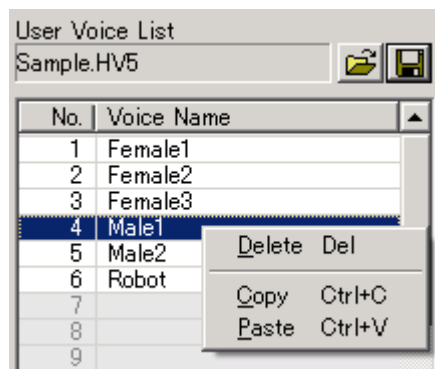
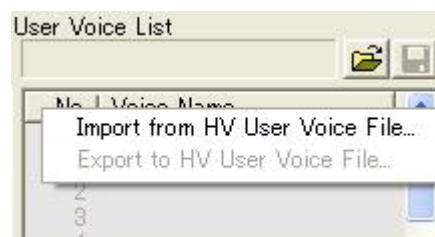


図 2-5 UserVoice List

Open(開く)ボタン	User Voice List 側は User Voice ファイル(*.hv5)を開きます。 User Voice ファイルから HV Voice データを読み込み HV Voice ファイル名を HV Voice ファイル名表示エリアに表示します。
Save(保存)ボタン	User Voice List 側は User Voice ファイル(*.hv5)形式で保存します。
No.(音色番号)	音色番号を表示します。番号を変更することはできません。ただし本項目をクリックすることで降順か昇順かを切り替えることができます。 本項目をクリックすることで降順か昇順かを切り替えることができます。
Voice Name(音色名)	音色名を表示します。 HV Voice Editor ダイアログでのみ変更が可能で、ここで変更することはできません。 本項目をクリックすることで降順か昇順かを切り替えることができます。

リストエリア上部の「No.」または「Voice Name」上で右クリックするとファイル読み込み操作のためのメニューを表示する。メニューには以下の種類があります。



Import from HV User Voice File...	HV User Voice File(*.hv5)を開き、読み込む。
Export to HV User Voice File...	HV User Voice File(*.hv5)を保存する。

2.7 HV-Script 入力エリア

HV-Script の入力をキーボードから打ち込み表示します。

HV-Script ファイルを開いた時は HV-Script の内容を表示します。

HV-Script ファイルを HV Script 入力エリアにドラッグアンドドロップすると、HV-Script ファイルを開き、HV-Script の内容を表示します。

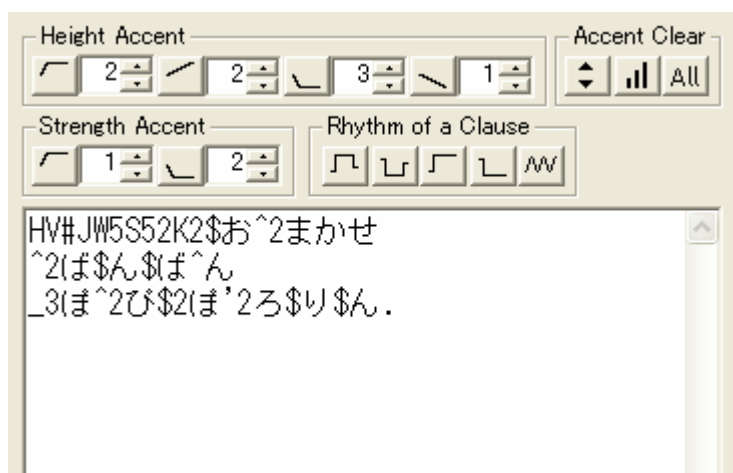


図 2-6 HV Script 入力エリア

この図は、日本語 HV-Script の例です。他国語 Windows の上で、他国語 HV ツールとして使用する場合には、他国語 HV-Script を入力してください。

3 HV 音色設定機能

3.1 HV Voice Edit ダイアログ

HV 音色パラメータの表示や編集を行うことができます。



図 3-1 HV Voice Edit ダイアログ

- Voice No.(音色番号)/Pch No.(プログラムチェンジ番号)
音色番号を表示します。

■User Assign Map から開いた場合

「Pch No.」と表示され、0～15 までの音色を選択することができます。

■User Voice List から開いた場合

「Voice No.」と表示され、0～127 までの音色番号を表示します。編集することはできません。

- Pch# (プログラム・チェンジ番号)
プログラム・チェンジ番号を表示します。ユーザーによる編集はできません。
Voice Assign List の項目からダイアログを開いたときのみ表示されます。

- Voice Name(音色名)
編集中の音色名を入力することができます。
半角 16 文字まで入力が可能です。

- MV(マスターボリューム設定)

再生時のマスターボリュームを設定します。直接入力及びスピンボタンを使った設定が可能だが、どちらも有効範囲は0～127とします。範囲外の値は受け付けません。

- Basic Voice No. (基本音色番号)

基本となる音色番号を指定します。

0:男性デフォルト音色

1:女性デフォルト音色

- Pitch Shift[cent](ピッチシフト値)

基本音色からのピッチ変化量(cent)を指定します。

設定値: -8192～8191

- Fixed Pitch Enable(固定ピッチ有効指定)

音色のピッチを有効「ON」とするか無効とするか「OFF」を指定します。

チェックボックスにチェックを入れると「ON」、チェックをはずすと「OFF」となります。

[Note] 内部的な処理により、パラメータを確定してから再びパラメータを表示させると値が異なることがあります。内部的なパラメータはユニークとなります。

- Fixed Pitch[Hz] (固定ピッチ指定)

固定ピッチ周波数を指定します。

Fixed Pitch Enable が有効である場合にのみ指定ができます。

設定値: 0～48000

- Prosodic Volume Enable(Prosodic Volume 有効指定)

Prosodic Volume を有効とするか「ON」無効とするか「OFF」を指定します。

チェックボックスにチェックを入れると「ON」、チェックをはずすと「OFF」となります。

■Formant1～Formant8

- Level[dB] (フォルマントレベルシフト値)

基本音色からのレベル変化量(dB)を指定します。

設定値: -64～63

- Freq.[cent](フォルマント周波数シフト値)

基本音色からの周波数変化量(cent)を指定します。

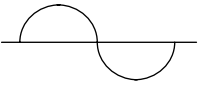
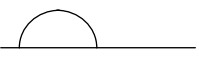
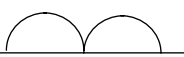

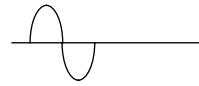
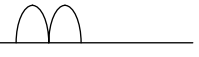
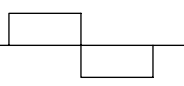

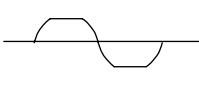
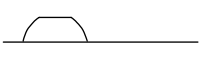
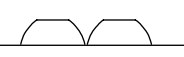
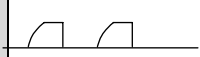


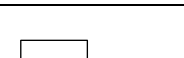
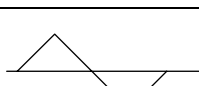
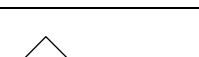
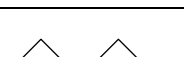
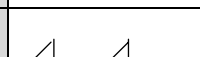


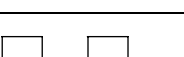
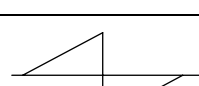
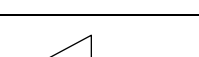
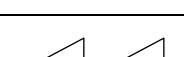
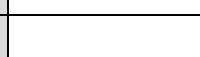
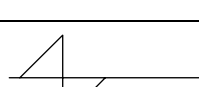
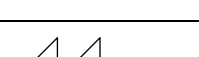
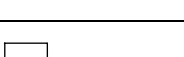
設定値: -8192～8191

● WS(オペレータ波形選択)

オペレータ波形番号を指定します。また、波形絵を表示します。

設定値: 0~14,16~22,24~30

[Note] WS を 15、23、31 は使用することはできません。WS を 15、23、31 に設定した場合は、Voice Edit の[OK]ボタンが押せなくなり音色を確定することはできません。

0		1		2		3	
4		5		6		7	
8		9		10		11	
12		13		14		15	使用不可
16		17		18		19	
20		21		22		23	使用不可
24		25		26		27	
28		29		30		31	使用不可

- LFO(LFO 周波数)
LFO 周波数を指定します。

LFO 設定値	変化量[Hz]
0	2.08
1	4.17
2	6.25
3	12.50

- AM 変調(フォルマントレベルの変調)
AM 変調を有効「ON」にし、AM 深度を設定することができます。
チェックボックスにチェックを入れると「ON」、チェックをはずすと「OFF」となります。
スライダーを動かすことにより AM 深度を設定することができます。
[Note] AM 変調が有効な時のみ、AM 深度を設定することができます。

AM 深度設定値	振幅[db]
0	±4.5
1	±9.0
2	±13.5
3	±18.0

- VB 変調(フォルマント周波数の変調)
VB 変調を有効「ON」にし、VB 深度を設定することができます。
チェックボックスにチェックを入れると「ON」、チェックをはずすと「OFF」となります。
スライダーを動かすことにより VB 深度を設定することができます。
[Note] VB 変調が有効な時のみ、VB 深度を設定することができます。

VB 深度設定値	振幅[cent]
0	±240
1	±480
2	±960
3	±1440

- Formant 設定グラフエリア
Formant1～Formant 8 それぞれにおける Level、Freq.値を折れ線グラフにします。
縦軸を Level、横軸を Freq. とし、それぞれのフォルマントのポイントをマウスでクリック、ドラッグして直接編集することができます。それに応じて各 Level、Freq.値が変化します。

- Formant 設定グラフクリアボタン
Formant1～Formant 8 それぞれにおける Level、Freq.、WS、LFO、AM、VB の値を初期値に戻します。

- Stop(停止)ボタン

HV-Script の再生中にクリックすると、曲の再生を停止します。
また、再生中のスペースキー押下でも、再生を停止します。

- Play(再生)ボタン

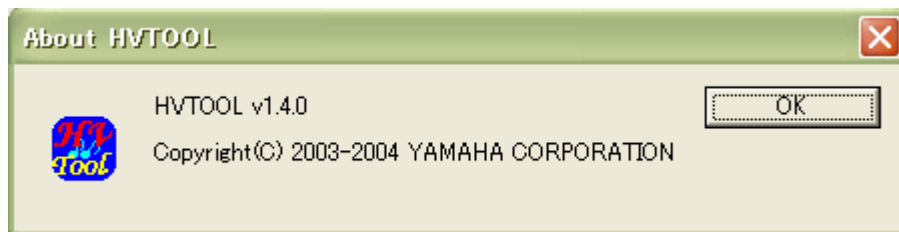
HV-Script の再生が停止している時にクリックすると、HV Script の再生を行う。HV Script は予め読み込まれている必要があります。
また、停止中のスペースキー押下でも HV Script の再生を行います。

Script 内に Extend 音色を使用する[イベントの声質変更]が入力されている場合、User Assign Map から HV Voice Edit を開いた時と、User Voice List から HV Voice Edit を開いた時とでは、再生される音色が違います。

- User Assign Map から開いた場合
Script 内の声質変更に従った音色が再生されます。
- User Voice List から開いた場合
Voice List で設定している音色に従った音色が再生されます。

4 About ダイアログ

アプリケーション名、バージョン情報、著作権情報を表示します。



OK ボタンで About ダイアログを閉じます。

5 メッセージ

5.1 エラーメッセージ

5.1.1 入出力時に出るエラーメッセージ

画面の表示	エラー内容	原因
Can not open file. Illegal output stream.	ファイルを開くことができない。 Output stream が正しくない。	ファイルの読み込みで何らかの問題が発生した。
Can not open file. Illegal file format.	ファイルを開くことができない。 ファイルのフォーマットが正しくない。	ファイルの読み込みでフォーマットが正しくない。
Can not save file. Illegal output stream.	ファイルを保存することができない。 ファイルのフォーマットが正しくない。	ファイルの保存で何らかの問題が発生した。
Can not save file. Illegal file format.	ファイルを保存することができない。 ファイルのフォーマットが正しくない。	ファイルの保存でフォーマットが正しくない。
Can not assure of contents. The maximum of segment include HV-Script is required within 100(byte).	HV-Script の動作は保証しない。	HV-Script の 1 文節の長さが 100byte を超えている。

5.1.2 起動時に出るエラーメッセージ

画面の表示	エラー内容	原因
Can not open application. Application is already running.	アプリケーションを起動できない。 アプリケーションがすでに起動している。	HV ツールを重複起動した。
Can not open application. Unexpected problem is occurred.	アプリケーションを起動できない。 何らかの問題が発生した。	初期化などで問題が発生した。

5.1.3 その他のエラーメッセージ

画面の表示	エラー内容	原因
Exit application. Unexpected problem is occurred.	なんらかの問題でアプリケーションが終了した。	なんらかの問題でアプリケーションが終了する。

5.1.4 ユーザー操作関連のエラーメッセージ

画面の表示	エラー内容	原因
Can not edit HV voice parameter.	HV 音色パラメータを編集できない。	HV 音色パラメータ・モジュールで何らかの問題が発生した。

Can not optimize HV-Script. Illegal file format.	HV-Script を最適化できない。	HV-Script にヘッダ情報がない。
Can not edit copyright. Illegal header.	HV-Script に著作権情報を付与できない。	HV-Script にヘッダ情報がない。
Can not assure of contents. The maximum of segment include HV-Script is required within 100(byte).	HV-Script の動作は保証しない。	HV-Script の 1 文節の長さが 100byte を超えている。
Can not assure of contents. Illegal header.	HV-Script を読み込めない/再生できない。	HV-Script にヘッダ情報がない。

5.2 警告メッセージ

5.2.1 入出力時に出る確認メッセージ

画面の表示	エラー内容
HV-Script is under edit. Do you want to save file?	HV-Script は編集集中です。 保存しますか？

5.3 確認メッセージ

5.3.1 ユーザー操作関連の確認メッセージ

画面の表示	内容
Do you want to delete HV voice parameter?	HV 音色パラメータを削除しますか？

5.3.2 終了時に出る確認メッセージ

画面の表示	内容
HV Script is under edit. Do you want to save file?	HV-Script は編集集中です。 保存しますか？
HV Voice Parameter is under edit. Do you want to save file?	HV 音色パラメータは編集集中です。 保存しますか？